



新人さん いらっしゃい~!!



研修を終えた新人が続々と各部署に配属されています。

先月21日より各部署に新人が配属されました。表参道の本社をはじめ、舞浜や潮見など様々な場所で研修を重ねており、舞台の基礎の基礎を叩き込まれたかと思います。

その中でも、安全衛生向上委員会の広報メンバーの現場で一緒になった新人達にインタビューを受けてもらいました! ほんの数名ですが、配属したばかりの生の声をお届けします!



技術部 吉永さん

正社員になり、技術部に配属されてからの初めての現場は、某歌手の東京ドームの仕込みでした。ドームでの仕込みは、研修期間中にも行ったことがなく、わからないことだらけで、自分で考えて動くことがなかなかできませんでした。現場で実際に、その物を目の前にしてやってみないとわからないこともたくさんあり、今後も自ら考えて積極的に動き、他の日本ステージの技術部の方や、外注の大道具の方がやっていることをしっかりとみて、学んで、自分のものにしていくことを思いました。また、今回の現場で常に先の先を見据えて、行動していくことがいかに重要かということも改めて感じました。

現場はとても慌ただしく時間が過ぎていくので、今回は本当に必死で追いついていくことで精一杯でした。しかしながら、今後は現場での仕込み、バラシがスムーズに行くように、段取りやさばきの効率の良いやり方を場数踏んで、体で覚えていくことを思っています。

私の正社員としての初現場は吉永と同じく某歌手の東京ドームでした。ドームクラスの現場は初めてだったので、規模の大きさ、トラックの量、部材の多さ等に驚きましたが、先輩方に優しく、そして詳しく教えていただき、なんとか現場の流れについていくことができました。しかし、段取りをしようとしていたら、他の方が先にしていたり、何から準備したら良いかわからなくなったり、タイミングや順序がよくわからなかつたので、これからだんだん覚えていきたいと思います。他にも課題は多いですが、特にバイトさんにわかりやすく指示ができるようにうまく行動ができませんでした。今後、いろんな先輩方と現場にいくことになると思うので、先輩方を参考にして、端的に指示できるようになります。



技術部 丹生さん



デザイン課 矢部さん

デザイン課として初めて入った現場は某バンドグループのホール公演でした。研修期間中は大道具1Pとして見られていましたが、今回はデザイナーとしての立場を貫き、それを周りの方が理解していただける現場でした。すると上司や大道具さんからの指導がいつもと変わった印象を受けました。幕を吊るのにも、今まででは意の一番にチチ紐を結びに行っていましたが、今回は舞台前から幕がねじれていないかなど、客観的に現場を見る仕事にシフトしたように思いました。指示する立場になったことで、日本ステージの矢部と見られる機会が増えたように思えます。

まだまだ現場数はこなしていませんが、現場に入るたびに様々な部材をどんどん覚えていきたい気持ちが強くなっています。社員になったからには、お手伝いで止まっていたことを奥の奥まで突き詰めていきたいと思います。



正式名称は全国瞬時警報システムと言って、北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来し、着弾する可能性がある場合に、政府は24時間いつでもこのシステムを使用し緊急情報を伝達します。北朝鮮が予告することなく弾道ミサイルを発射した場合には、事前にお知らせすることなく、使用することになります。

実際に、現場作業中に鳴る可能性もありますので、一旦作業をストップして屋外の場合は頑丈な建物に入る、屋内ならば窓からできるだけ離れる等の行動を心掛けてください。